

《どうでもいい話、その 564》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

久しぶりに本家岩波書店版「新四字熟語辞典」をお送りします。

「最近は下ネタが少ない」との苦情が寄せられますので、たまには・・

「五輪夢中」（ごりんむちゅう）・・・・・東京オリンピックの競技に世界の人々がテレビの前で夢中になること。

「感染懲悪」（かんせんちょうあく）・・・・まん延している新型コロナ感染をワクチンが懲らしめ静めること。

「八菅語録」（はちすがごろく）・・・・菅総理が原稿を読み飛ばしたり間違えたりした八つをまとめた語録。

「金口玉言」（きんこうぎょくげん）・・・・金メダルを口の中に入れたりしてはいけない、と注意を喚起する玉言。

「金球辞退」（きんきゅうじたい）・・・・オカマが性転換手術をして女になること。

「満艶防止」（まんえんぼうし）・・・・濃密セックスによるコロナ感染を防止するキャッチコピー。

岩波より

* これも久しぶりに神戸新聞へ投稿したところ、昨日掲載されました。どうでもいい話の付録ですが添付ファイルにてお送りします

シルバーカレッジ

岩波 義孝 76歳

(無職 神戸市垂水区)

援、高齢者の集い開催、児童館・高

齢者施設などへクラブ活動で覚えた

少子高齢化が加速している。私は69歳まで働き、その後神戸市北区の「しあわせの村」内神戸市シルバーカレッジに入学し3年間過ごした。そこで学んだ経験は、私の人生や考え方を大きく変えた。

マジック演技の披露など、皆さんに喜んでいただき、生きがいを感じている。また卒業後も同窓生、さまざまなグループの仲間との付き合いを楽しんでいる。

それまでは仕事オンリーで、ボランティアなど全く頭になかったが、現在の日常の大半はボランティア活動である。地元小・中学校の授業支

カレッジの学生数は定員を下回っているそうだ。残念だ。「青春とは人生のある一定期間ではなく、心の持ち方である」。第一の人生を有意義に、楽しく過ごしてほしい。